

「子育て、介護、しごと」 ワーク・ライフ・バランスを推進 ～働く女性を応援します！～



つくば市議会議員の山本みわです。日頃より温かいご支援、ご声援に心より感謝申し上げます。

女性の2人に1人が働いている

働く女性

2015年の国勢調査の速報値によると、15歳以上65歳未満の女性のうち働いている人の割合は、過去最高の49.8%でした。

女性が社会の中で働くことが求められ、期待されている一方、働く女性のうち、パートなどの非正規雇用の方は54%と過半数になります。男性の非正規雇用の割合は18%。女性はまさに男性の3倍。これは、賃金・待遇の格差にもつながることです。働く女性への支援はこれまでも増して急務です。

49.8%



つくばの子育て支援策

子育てや介護と、仕事の両立(ワークライフバランス)は、男女共にますます大きな課題となっています。

つくば市では平成28年度、保育所2園・認定こども園1園、定員計240人を増やしていますが、待機児童は減りません。

つくばならではの職住近接環境を生かした子育て支援策の見直しと充実に全力で取り組んでいきます。ぜひ皆さまのご意見お聞かせください。

県内待機児童数ワースト1

議会報告&懇談会「みわCafé」

みなさんと、議会の話やまちづくりなどアットホームにお話する活動報告会。
途中参加、退出自由です。お気軽にお越しください。

平成28年8月17日(水) 松代交流センター2階会議室

①10:30～12:00

②19:00～20:30

【テーマ】

- 1) 特別支援教育のあり方について
- 2) 保育所・幼稚園・学童クラブ待機事情について
- 3) つくばでの介護事情・課題について

議会一般質問で取り上げる
内容について
ご意見お聞かせください



つくば研究学園郵便局開局から1年 皆さまとの要望活動により実現！

2012年10月に、研究学園地域の住民の皆さまと郵便局誘致の要望署名活動(1919名の署名)を行い、つくば市・日本郵政・UR都市再生機構に陳情をしてきた結果、市役所前に2015年6月1日、待望のつくば研究学園郵便局がオープンしました。

研究学園在住の石井啓一国土交通大臣、田村けい子県議会議員と共に、皆さまの思いをつなぎ、日本郵政に働きかけ続けて、開局実現に至りました。

研究学園地域には未整備の施設がまだあります。これからも、住みやすいまちづくりのため、要望実現に努めてまいります。

改善前(2013年)



改善後(2016年)



2012年10月15日つくば市長へ陳情

小野川小学校区通学路の道路改善 地域区会と要望し拡幅実現

高野台から南中妻セントラルタウンへ抜ける通学路がたいへん狭く、以前から保護者や地域住民から改善の要望がありました。

地主の同意を得た上で、保護者、地域区会の連名で、危険な通学路を拡幅する要望書を、2013年7月25日、つくば市長へ提出いたしました。予算がつき、工事が始まるまでにはひと山もふた山もありましたが、無事、道路拡幅いたしました。

これからも、子どもたちの安全で安心な通学路の確保に努めてまいります。

公共施設白書完成

築30年以上が経過し、老朽化している公共施設を、長期的・計画的に維持管理、修繕、活用する「公共施設マネジメント」のための第一歩として、市が保有する全ての公共施設を対象とし、情報を整理した『つくば市公共施設白書』がこのたび6月に公表されました。

平成22年から一貫して、公共施設マネジメントの必要性・白書作成を訴えてまいりました。今後は住民参加型の政策づくりに取り組んでまいります。

つくば市 HP>> [つくば市政](#) >> [市政情報](#) >> [公共施設等資産マネジメント](#)



平成28年6月議会

山本みわ 議会質問より



「子育て支援のワンストップ」 市の体制を見直すべき



桜にある「つくば市子育て総合支援センター」も2011年のオープンから丸5年。

筑波大学の“子育て支援ネットワーク構築”のプロジェクトや、つくばの子育て支援を考える会などの議論・取り組みを受け、子育て総合支援センターの構想・整備に至った経緯があります。

しかし、「子育て支援を点から面へ」とのミッションは、委託事業となっている子育て支援センターだけでできるものではないと考えます。

子育て支援事業は、現在、市の最重要課題となっています。産前産後から就学期までの切れ目のない支援体制を築くために、つくば版ネウボラを意識した、**子育て支援戦略室**の設置を提案しました。

移住・定住促進をする上で 居住環境の整備は当然のこと



昨年から今年にかけて雑誌 AERA の「子育てしやすいまち」「移住したいまち」に、つくば市が上位ランクインしています。

東京八重洲で「つくば移住フェア」を開催するなど、積極的に取り組んでいますが、移住・定住を促進するからには、「人が増えたら整備します」「対処します」では遅いのではないかと。

子育て・教育・働きながらというところを、ポテンシャルとして人を呼び込む以上、生活環境を整える責務を果たすべきであります。

小中学校・児童館・地域交流センター 交通網の整備など

連動した施策展開を要望しました。

子どもの B 型肝炎ワクチンの 独自助成について



2016年10月から乳幼児への B 型肝炎ワクチンの定期接種化が始まります。定期接種対象は「生後1歳」までのお子さんになる予定です。

すでに全国では、120を超える自治体が任意助成事業として乳幼児への公費助成を実施しています。定期接種対象から漏れる1歳から3歳までを対象としたつくば市独自の任意助成事業の実施を強く要望しました。

その他

- つくば総合インフォメーションセンター「交流サロン」(Bivi つくば内)の利用状況と今後の活用について
- 大規模未利用地活用推進室の役割と今後の取り組み

について質問しました。

一般質問の詳しい内容や、過去の質問内容についてはホームページをご覧ください。

山本みわホームページ

<http://www.miwatsukuba.com>

次回定例議会ご案内

8月31日（水）～9月21日（水）までの開催予定です。

一般質問：9月 7・8・9日

本会議は傍聴やインターネット中継など行っていますので、ぜひご覧ください！
詳しくは、つくば市議会ホームページ <http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/667/index.html>

山本みわの実績

子育て

- ◆臨時職員保育士の賃金水準の見直し実現！
- ◆特別支援員の増員
- ◆ペアレントトレーニングの導入
- ◆子育て総合支援センターに発達相談窓口の設置
- ◆放課後子ども教室の推進・実施
- ◆保育所・児童館の耐震診断と耐震改修を提案・実施
- ◆子育てすくすくメール配信事業実施
- ◆小中学校各教室への冷房整備 1番最初に要望・交渉！

地域

- ◆市報のポスティングによる全戸配付
- ◆犬のふんイエローカード
- ◆交流センター図書室の中央図書館分館化
- ◆中心市街地の防犯灯等の計画的な整備管理について、調査マップを作成
- ◆メモリアルホールにコインロッカー設置
- ◆公務員宿舍の廃止に関して国との協議会を設置
- ◆研究学園地域に郵便局誘致実現！

防災

- ◆地域との連携による学校の防災力強化推進 事業の実施
- ◆災害時の情報伝達手段の整備（うちオ協定）
- ◆防災無線の一部導入 震災時より一貫して主張してきました！
- ◆防災計画に女性の目線を導入

市政

- ◆財政の見える化→つくばの台所事情発行
- ◆公共施設マネジメント導入推進

健康・高齢者

- ◆女性特有のがん検診・がん対策の推進
- ◆高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を実現
- ◆妊婦健診公費助成拡充
- ◆子どもの医療費助成、中学3年まで拡充
- ◆救急医療情報キット導入
- ◆こころの体温計（うつ早期発見）導入推進



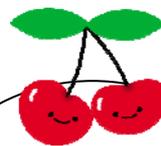
山本みわプロフィール

- 1969年12月 東京都練馬区生まれ
- 都立大泉高等学校、創価大学教育学部児童教育学科卒業
- 1992年 4月 学校法人創価大学事務局にて庶務課・広報課・企画課に従事
- 1999年 4月 結婚を機につくば市に居住
- 2008年10月 つくば市議選で 2,602票をいただき初当選
- 2012年10月 3,577票で再選を果たし、現在2期目。

- ・文教福祉常任委員会 委員長（2013、2014年）
- ・総合運動公園に関する調査特別委員会副委員長
- ・安心安全調査特別委員会 ・議会活性化推進特別委員会
- ・国民健康保険運営協議会副会長 ・男女共同参画審議会委員
- ・子ども子育て会議委員 ・バースセンター評価委員、
- ・予防接種健康被害調査委員会委員

公明党つくば支部副支部長
松代小学校父母と教師の会元会長、手代木中学校 PTA 元会長
防災士、つくば環境マイスター3級、
「いばらき防災士ネットワーク」「認知症の人と家族の会」
「若年者社会参加支援普及協会アストリンク」（ひきこもり支援）

【生活信条】 「笑顔と感謝」 【趣味】 森林浴・文具本屋めぐり
【家族】 夫・一男（中3）・一女（小6）・実母の5人家族



さくらんぼ通信の

“さくらんぼ”は
『あなたとわたし』
そして
『2人の子ども』
と常に一緒に
そういう思いを込めています